

学校危機の衝撃度レベル

中規模（衝撃度レベルⅢ弱～Ⅳ）に派遣します。

全国CRT標準化委員会策定

事件規模	衝撃度	事件・事故、災害の事例 ●学校管理下 ○学校管理外	派遣の判断
大規模	Ⅵ	●北オセチア共和国学校テロ	派遣不適 (災害対応)
	Ⅴ	●大阪池田小学校事件	CRTのみで 対応不可
中規模	Ⅳ	●佐世保市の小6殺害事件 ●山口県立高校爆発物事件、数十人救急搬送	派遣適当
	Ⅲ強	●校内で子どもが自殺。数十人以上の子どもが間近で目撃 ●校内プールで水死。多数の子どもが間近で目撃 ●通学路で子どもが交通事故死。多数の子どもが間近で目撃	
	Ⅲ弱	●校外で子どもが自殺。数人の子どもが間近で目撃 ●校内プールで水死。数人の子どもが間近で目撃 ●通学路で子どもが交通事故死。数人の子どもが間近で目撃 ○親子心中事件	
小規模	Ⅱ	○自宅で子どもが自殺 ○川で数人の子どもが遊んでいるときに1人水死 ●通学路で子どもが交通事故死。間近で目撃した子どもなし	派遣検討 (個別対応)
小規模以下	Ⅰ	○家族旅行中の交通事故で子どもが死亡 ○子どもの親が他者に殺害される ○自宅で親の自殺を子どもが目撃	派遣不適當 (個別対応)

※ 特定個人・家庭にとっての衝撃度ではなく、あくまで学校・学級全体の衝撃度（最初の数日間）で段階を付けている点に注意してください。